平成30年度　第6回理事会議事録

開催日時：平成30年11月17日（土）14:00∼16:00

開催場所：山口県総合保健会館　第3研修室

出席者（理事）： 三輪光良　堀　健司　小田真一郎　大平知之　山本公志　齋藤茂治

佐野裕一　河村裕介　渡邊征二　三輪慎治　東　彩絵　増矢勝史

德永昌久　岡 功一朗　山下　勉　岡本修二　池田利充

内海英人　丹羽英彰

出席者（監事）： 伊藤　弘　大田則彦

以上、定款第３３条の規程により理事の過半数の出席で理事会は成立。会長　三輪光良が

議長となり、定款第３４条に基づく出席者の中より、議事録作成人として池田利充理事、

議事録署名人として　德永昌久理事、渡邊征二理事を選出した後、次の議案を付議した。

**議案１　顧問について**

三輪会長

　　　今まで、山口大学放射線科教授に当会の顧問になっていただいているが、現在の顧問の松永教授の退官に伴い、このたび着任された伊東克能教授を顧問として迎えたい。

　ご本人からは承諾をいただいているので、承認されれば就任となる。

意見が特になければ、伊東教授を顧問として迎えることについて採決を行いたい。

採決を取る。

賛成　19人　　反対　0人　　保留0人

議案１　山口大学放射線科伊東克能教授を顧問として迎えることについて可決された。

**議案２　　講習会の非会員参加費について**

三輪会長

　　　現在、県講習会の開催にあたって、会員は無料、非会員は参加費として1,000円を徴収している。この参加費は、対象を県内の会員・非会員しか想定しておらず、県外からの参加者についての決まりがなかったため、ナイトセミナーの際に、県外の参加者から1,000円徴収した。今後のため、県外からの参加者の参加費を検討したい。

県の講習会に参加する際の「会員」を、YART会員もしくはJART会員という認識で考えたいと思う。

三輪理事

JART会員ではない県外の技師については非会員として徴収するということか。

三輪会長

　　　そういうことになる。JART会員であるということで線引きしたい。

大田監事

YART会員であれば県の講習会が無料で受講できることで、入会促進のためにも差別化を図った経緯がある。

三輪会長

　　　会員のメリットという意味でも、非会員から参加費を徴収することを以前決定した。

技師以外の方の参加については無料にしたいと思う。技師についてはJART会員であれば、YART会員ではなくても会員、それ以外の技師は非会員というくくりにしたい。このことについて採決を行いたい。

採決を取る。

賛成19人　　反対0人　　保留0人

議案２　県講習会開催における参加費は、YART会員もしくはJART会員であれば無料、それ以外の技師は非会員とし参加費（1000円）を徴収する。技師以外は参加費を徴収しないこととすることについて可決された。

**検討事項**

（１）70周年記念行事について

　①式次第について

三輪会長

　　　平成31年5月18日(土)に開催する。役員会を行い、続いて記念行事を行いたい。記念行事は、式次第（案）に沿って開催したい。（資料参照）記念講演は1時間半、記念式典を1時間、祝賀会を2時間の予定で考えている。記念講演は3名で、ＪＡＲＴ会長中澤先生（一度、声かけはしているが確定ではない）と、京都大学医学部附属病院技師長上田先生、道の駅しーまーと駅長山口先生にお願いをしている。中澤会長に関してはこれから早めに案内をしていく予定。以上の3演題、各30分を予定している。

　　　記念式典には県知事、市長、医師会会長、ＪＡＲＴ会長に出席をお願いする予定。

　　　来賓として中四国会長、県内医療団体会長、議員を数名お呼びする予定。

　　　祝電披露の後、県知事表彰を5名（推薦し、県にお願いする）確定次第報告する。

　　　感謝状として広告費用や講習会で協力して頂いている企業など5社選定し感謝状を　　贈呈したい。以上の流れで式典を行っていきたい。

　　　最後に記念祝賀会を開催する。会費を会員は6,000円、非会員を10,000円とする。また、小田副会長と共にこの予定に基づいて調整していきたい。

　　　この記念行事の担当責任者を決めていきたい。山本理事と佐野理事を受付責任者に、堀副会長を来賓責任者に、丹羽理事を司会責任者に、東理事を表彰責任者に、小田副会長を来賓控室責任者に、大平理事を特別講演責任者に、河村理事を記念式典責任者に、斎藤理事を祝賀会責任者に任命する。その他理事にもそれぞれ協力をお願いする。

　②記念史の作成にかかる経費について

大田監事

　　　現在資料をエクセルで整理作成中。ホームページに掲載するには、データを軽くする必要があり、そのためには、PDFにするのが良いと思っている。

レイアウトの良いPDFにするために、ソフトを購入する方法と業者に依頼する方法がある。ソフトを購入する場合、DocuWorksというソフトがあり、AcroobatReaderがインストールされていれば閲覧可能。業者に依頼する場合にどのくらいのコストがかかるのか小田副会長に確認してもらったが印刷業者に依頼してもAcroobatReaderになるようなので、個人的には、自分たちでPDFにするのが最良と思う。もし、編集委員会にて業者に依頼する方法が良いとなれば、見積もりをとり、次年度の予算に入れないといけないので、議案に上げたいと思う。

三輪会長

　　　過去に50周年記念史を作成したが、その時のような本は作成せず、ホームページから閲覧できるものと、関係団体にはCDにして送れるようにしたいと考えている。

　　　9月末には発行できるようにする。

河村理事

　　　ソフト購入の場合、今年度になるか来年度になるか。

大田監事

　　　来年度になる。方向性が分かった時点で報告する。

（２）原子力災害時緊急連絡網について

三輪会長

　　　以前、緊急連絡網を作成していたが現実的ではないため、変更したい。11月8日に行われた県の原子力災害訓練では愛媛県伊方原発で事故が発生したという想定で訓練が行われた。その際、まず県技師会事務所に連絡が入り、事務所より会長、次に会長が現在の緊急連絡網に従って連絡した。しかし、災害が休日や夜間に起こった場合に、この連絡網では技師会事務所に連絡がつかないため、直接会長に連絡が入るよう変更したい。携帯もしくは職場の連絡先を登録しようと思う。次に原子力災害を担当してもらっている3名、徳山中央病院の吉永会員、山口大学医学部附属病院の田辺会員、山口赤十字病院の松永会員への連絡を、会長が直接行うように変更したい。県の災害対策は、伊方原発の30ｋｍ圏内である上関町八島の島民が避難する際のサーベイを想定している。島民は20数名で、想定内の災害であれば人員はさほどいらないが、風向きによっては汚染範囲も広がることが予想されるため、10名弱くらいのメンバーを揃えたい。現在、核医学検討会の方に依頼をかけている状態。連絡網が完成したときにもう一度報告する。

（３）県知事表彰について

三輪会長

　　　これから5名ほど推薦し、県に提出する。県より確定通知が来てから報告する。

（４）広告掲載の契約について

三輪会長

　　　現在、広告掲載のお願い・趣意書（資料参照）に沿って各社にお願いをしている。

　　　この趣意書の中で、「やまぐち健康フェスタ」の文言があるが、フェスタは開催されなくなったのでこの一文を削除する。

　　また、広告掲載について会誌に広告が載るだけでは魅力が少ないと思うので、広告をいただいている企業へ後援依頼と同等のサービス（企業が主催するセミナーなどの広報を技師会がFAXなどを利用し協力していく）を提供できたらと考えている。なにか広告収入が増加できるよう案があれば意見を頂きたい。現在、広告では企業も資金捻出が難しいようで、ゆくゆくは賛助会員として会費制も可能か検討していきたい。

河村理事

　　　賛助会員になって頂き、一口いくらといった形で収入になると予算の自由度は利く。会誌広告で得た収入は会誌事業で消費しなければならないという制約がある。間に合えば来年、遅くとも再来年には賛助会員制度を導入できたらと思う。

三輪会長

　　　また詳しく調べて検討していく。進捗があり次第報告する。

（５）事業内容の変更

三輪会長

　　　県が開催していた健康フェスタがなくなり、技師会単独でフェスタをできるか検討した。検査技師会が行っている事業を参考にさせてもらうと、イオンモール等で開催しており、備品等でかなりの予算がかかる。そこで、健康フェスタは事業から削除し違う形に変更したい。今年は全国大会時に一部スペースを作り開催したが、こういう機会がないとなかなか県民にアピールができない。

河村理事

　　　事業内容変更は県に届け出が必要で、何ヶ月もかかるので、県に相談が必要である。

三輪会長

　　　この場で検討し、全く行わないか、違う形にするかを決めたい。検査技師会と同じようなことはとてもできない。

河村理事

　　　とりあえず県民への還元は学術総会での公開講座で引き続き行っていく。

三輪会長

　　　健康フェスタは名目にできないので、違う形か削除かをこれから検討していく。また決定したら県に申請に行く。現在なくす方向で考えている。

河村理事

　　　一度、県の担当者に会って相談したほうが良い。また、山内前会長とこの話をした記憶があるので山内前会長にも相談したほうが良い。

（６）共催・協賛・後援取扱規程の一部変更

三輪会長

　　　共催・協賛・後援取扱規程（資料参照）の共催等の定義　第3条（3）後援の中で技師会が後援し、その主催者が何か事故を起こした場合に、当会に責任が及ぶようでは困るので、責任の所在という一文を追加したい。例として「後援名義の使用について　経費に関する全ての問題、開催中の事故、不測の事態についての全ての責任は主催者で負っていただきます」こういった一文を追加しておきたい。規程の改訂になるので正式な文章を作成しないと検討しづらいかもしれないが、こういう方向性に持って行きたい。

（７）講習会時のビデオ撮影許可依頼の様式について

大平理事

　　　講習会時のビデオ撮影許可は、口頭でしか行っていなかったが、紙面上で残した方が良いということで、以前作成した様式に手を加え、作成した。（資料参照）

　　　ビデオ撮影の目的を2種類明記し、講師に記入・署名をして頂き、紙面を残すことでトラブルを防ぎたい。ビデオ撮影を許可しない場合には記入も不必要とする。

三輪会長

　　　この様式を当面使うこととする。何か問題があればまた検討していく。

　　　地域研修会等でもこれを使用する。撮影がなければ記入していただく必要はない。

**報告事項**

（１）総会の進捗状況

山下理事

　　　一般公開講座の講師について、日本赤十字病院の市民公開講座を積極的に行っている部があり、そちらに災害救護について講演頂けるよう事務方と交渉済みである。講師は未定。この演題でいかがか。

三輪会長

　　　良いと思う。最近災害が多いので市民の方にも関心を持ってもらえると思う。

山下理事

　　　もし災害救護のメンバーが無理でも、代案が用意できそうである。とりあえず災害救助をテーマとする方向性で依頼をかけていきたい。

　　　次に5月18日（土）の宿泊ホテルをホテル喜良久に50名分確保した。朝食付きで1名7,000円くらい。喫煙部屋は7部屋用意したが足りるか。

三輪会長

　　　十分である。前日に役員会・リハーサルを行い、その後記念行事を開催するため、総会の準備をするのは当日の朝になると思う。

（２）学術功労賞・奨励賞ならびに山口県診療放射線技師会功労賞の推薦候補者のお願い

齋藤理事

　　来年度総会時の三賞の推薦を12月1日までにお願いする。詳細は事前にメールにて送付しているので再確認をお願いしたい。

三輪会長

　　推薦条件にカウントがあるので各地域で確認をお願いする。

（３）ソフトバレーについて

德永理事

　　　11月23日（金・祝）に山口市阿知須体育センターにて行う。（資料参照）受付は9時30分より、開会式10時15分より行う。21チーム参加し参加人数139名。今回、企業からの参加はなし。11月10日に齋藤理事と会場に行き、体育館使用料6,660円は支払い済み。体育館はやや狭いため、コートは5面で使用。食事は2階スペースとロビーになるがこちらもやや狭いので交代で取ること。なお、アリーナ内は飲食禁止だが、一部ブルーシートを敷いた場所でのみ給水可。審判長は下関地域片岡会員、準備体操・保険を大田監事にお願いしてある。ルールは昨年同様。当日駐車場が満車になった場合阿知須共立病院の職員駐車場を借りる許可を得ている。会場から600ｍ程度。おそらく満車にはならない。

（４）事業開催報告

①健康フェスタ

三輪会長

　　　健康フェスタは、先に述べたとおり全国学術大会の一般講座会場前にブースを設けて開催した。技師会からのぼりとパネルを展示し、リーフレットの配布等行った。こちらには専属のスタッフを技師会より配置し、かかった費用はスタッフ交通費29,980円となった。

　②ナイトセミナー

大平理事

　　　台風のため中止となった夏季講習会の代わりに10月12日（金）19時からナイトセミナーという形で小郡第一総合病院にて行った。参加人数は62名。このセミナー時に県外より2名参加があり、一名はＪＡＲＴ会員、一名は非会員であったが、県外参加者の参加費の取り決めがなかったため、それぞれ1,000円徴収した。

③秋季講習会

大平理事

　　　11月11日（日）山口大学にて開催し、参加者56名であった。

　④みんなの県民公開講座

三輪会長

　　　9月23日（日）山口県総合保健会館多目的ホールにて開催された。全国学術大会と重複したため、スタッフは参加していないが、マンモグラフィのチラシを800枚配布した。このチラシを見たセントラル硝子株式会社の方が、第28回宇部工場祭の健康ブースにおいて配布したいと申し出があったため300枚程お渡しした。

堀副会長

　　　この場所を提供してもらえるなら健康フェスタの代案として利用できないか。

三輪会長

　　　会社の催し物なので県技師会として参加するのがどうかと思いチラシの配布のみとした。　実際参加した方にどういう催し物だったか確認する。

（５）義援金について

三輪会長

　　　18,751円集まったので技師会より1,249円負担し20,000円ちょうどをＪＡＲＴ口座に振り込んだ。

（６）会長動向について

第5回理事会（8/3）以降の行事参加の報告・・・別紙資料参照

9月1日中四国会長会議・教育委員会の参加の報告において統一講習会受講のお願い

渡邊理事

　　　統一講習会の次のステップとなる102単位取得のための講習会が、95単位取得者限定となるため統一講習会の受講を勧める。山口県での開催はあと３回である。定員一杯でも県内会員の半数弱しか受け入れられない。早めに受講することを勧める。

（７）その他の報告

堀副会長

　　　11月3、4日ＣＳＲＦＴにおいて全国大会時に協賛して頂いた企業に、三輪会長、山内前会長と私の3名でお礼の挨拶参りをしてきた。

東理事

　　　12月15日にデジタルマンモグラフィの精度管理についての講演をしていただく講習会を山口大学で行う予定である。

三輪理事

　　　1月20日に下関医療センターにて第4回胃がん講習会を予定している。熊本県の総合検診センター山本高弘副技師長をお招きすることになっている。時間は8時受け付け開始、8時30分講習会スタートとなる。

渡邊理事

　　　統一講習会を1月12、13日にパルトピア山口にて開催する予定となっている。

地域講習会の予定についての報告

　　山口地域　2月開催予定

　　防府地域　12月4日開催予定

　　周南地域　1月下旬開催予定

　　萩・長門地域　2月開催予定

　　宇部・小野田地域　2月開催予定

　　下関地域　2月開催予定

岩国地域　2月開催予定

柳井・大島地域　1月～2月開催予定

河村理事

　　　公益目的支出額が現在のところ目標より少なくなっている。具体的には72,348円でなんとか目標に達さないといけない。まずは地域講習会、胃がん講習会の方で予算通り支出して頂くことを最優先で考えて頂きたい。さらに定例講習会の方でも再検討をお願いする。全国大会研修費という名目に関しては全国大会クラスの学会において講師のリサーチ目的等で支出できるため、希望のあるときは申し出て欲しい。

大平理事

　　　春季講習会を3月3日に開催予定。場所は徳山中央病院を予定し、確保しているが、周南地域地場産業センターでの開催も考えている。予算をたてて会場を変更するかもしれない。ただ、理事会も同日にあり場所移動があるのはやりにくいか。

河村理事

　　　理事会の方は公益事業費で賄えないので支出は控えたい。

三輪会長

　　　春季講習会の時に「医療被ばく相談Ｑ＆Ａ」という書籍の販売が行われる。

山本理事

　　　議事録の仕上がりが遅れている。ご多忙とは思うが2週間以内の期限を守るようお願いしたい。

堀副会長

　　　会長の出張に係る経費について、山内前会長の時は大学より出張費が出ていたが、三輪会長の勤務病院では難しいのでは。今後会長活動費として検討できないかと思う。

年間で見るとかなりの回数・金額となるため、負担を減らす対策を整えた方が良いと思う。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第34条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

　一般社団法人山口県診療放射線技師会　平成30年度　第6回理事会

　　　山口県診療放射線技師会　会長　　三輪　光良

　　　　　議事録署名人　理事　　德永昌久

理事　　渡邊征二

監事　　伊藤　弘

監事　　大田則彦